

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2022 年 10 月 20 日開催分)

開催年月日： 2022 年 10 月 20 日(木) 11:00～13:00

開催場所： オンライン開催

委員の出席： 番組審議員 7 名

WOWOW プラス 8 名

出席者

[審議員] 青木真弥、池ノ辺直子、音好宏、高寺成紀、富澤一誠、
村上典吏子、湯浅正敏 (以上 50 音順、敬称略)

[放送事業者] 大熊和彦、廣田敦、富田純代、青木昭、下原久美子、
内藤友基、米塚佳乃子、渋谷明子(記)

議題： (1) 2022 年 7 月～9 月の WOWOW プラスに対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について
(2) WOWOW プラスの番組内容、編成内容に関する審議

報告事項： 2022 年 7 月～9 月における WOWOW プラスに対する視聴者からの問い合わせや指摘・意見について、当社コンテンツプロデュース局長より、その件数や代表的な内容といった概要説明を行った。

審議事項： [審議番組]

『瓔珞<エイラク>～紫禁城に燃ゆる逆襲の王妃～』編成企画

<番組概要>

新作ドラマ「尚食(しょうしょく)～美味なる恋は紫禁城で～」の WOWOW での放送に併せて、主演のシュー・カイ、ウー・ジンイエンが初共演した同作を放送。両チャンネルで 9 月 1 日放送を開始し、相互告知を実施。グループシナジーを活かす取り組みをした。また、本作は地上波等でも放送されていたが、カットされていたシーンもあり、WOWOW プラスではノーカット、ノーCMで全 70 話の放送することをアピールした。

審議内容： ■審議員意見

・評判がよければ、作品の質などを見極めて、今後も中国ドラマを継続することに、意味はあると思う。時代背景やキャストの紹介等、もっと深掘した番宣があってもよい。

・番宣は、分かりやすく長期的にもよかった。分かりやす過ぎるかと思ったが、その位のことをしないとドラマに入っていけないなども思った。ドラマの時代背景などが分かるともっと良い。

- 番宣は分かりやすいが、中国時代劇の色がある他チャンネルで流れていても違和感はない。話数が多いとチャンネルカラーにも影響する可能性があるので、他チャンネルとの違いを提示することが問われるのではないかと思う。
- グループシナジーを活かした編成的は、ファンの盛り上がりをもためにも良い。中国時代劇に馴染みがない、ファンではない視聴者のフックになるような、オリジナルの解説、独自のスパイスが効いた番宣があると良いのではないか。
- 作品力はあるので視聴者を惹きつける。ドラマの時代的な背景が分からないので、人物像の解説や人間関係など、途中から見た人が判るような、ダイジェスト番組や長尺の番宣を作っていくのも大切ではないか。
- 例えば階級や序列、歴史の流れや時代背景、日本では江戸時代だったなど歴史をグローバルにみるトリビア的な情報など、興味のない人にフックを入れたような番宣、解説やダイジェスト版を入れたら、70話まで見る方が増えるのでは？
- ドラマの乾隆帝の時代は、清王朝でもとても良い時代の最後、貴族階級の没落が始まる、小説「紅樓夢」でも描かれていた激動の時代。必ずしも視聴者が詳しいだけでないので、歴史的な背景等、観ていなかった人をカバーするダイジェストがあってもよかった。

連絡事項： 次回番組審議会は、2023年1月19日（木）11時より開催予定。

以上